

観光渋滞WG(松島地区)からの報告

1. 令和4年度松島町交通社会実験に対する課題及び対応方針について

項目	課題	対応方針
交通状況	<ul style="list-style-type: none">・「国道45号の愛宕交差点」で、実験開始直後に1時間程度の渋滞が発生・迂回路に指定していない道路へ車両が侵入し断続的な渋滞が発生・三陸自動車道への迂回車両の転換は進まなかった	事前周知・広報の強化
観光事業者	<ul style="list-style-type: none">・観光事業者へのイベント波及効果が限定的だった・イベントでの物販等、参画を求める声が多い・社会実験について、5割が肯定的な評価、否定的な意見は約2割・売上減が半数、売上増、変化なしが3割・シャトルバスの運行により、歩行者天国区間以外の沿道店舗への立ち寄りが減少	地域の観光事業者の理解促進と連携の強化
観光客	<ul style="list-style-type: none">・観光客が「歩行者天国」付近に集中し、周辺店舗等への回遊が減少した・お年寄りや体の不自由な方々の移動手段が必要・社会実験の事前認知割合は5割弱・県外からのツアー観光への周知が十分ではなかった・イベントの内容充実を望む意見	観光2次交通の最適化・多様化
道路利用者 (トラック事業者)	<ul style="list-style-type: none">・主要迂回路の「県道仙台松島線」の、幅員狭小や急カーブ等の解消を指摘する意見が多い →迂回道路の機能強化に向けた道路改良等の検討を進める	

2. 前回の社会実験を踏まえた取組みについて

事前周知・広報の強化

- 4月に社会実験の実施について公表
- 県内外の観光業界へ周知
- 交通規制の内容の周知強化



地域の観光事業者の理解促進と連携の強化

- 地域の観光事業者等との意見交換会を開催し、社会実験への理解を深め、地域と連携した、地域一体となったイベントの在り方を検討

観光2次交通の最適化・多様化

- シャトルバスの運行ルートの見直し
- グリーンスローモビリティの運行
- AI・IoTと連動した2次交通の効果的・効率的な運行



3. 令和5年度松島町交通社会実験の概要(交通規制)

10月14日から15日の2日間(10:00~15:00), 松島レストハウスから松島第一駐車場までの250m区間を全車両通行規制するとともに, 松島海岸駅交差点から松島レストハウスまでの450m区間を車両通行抑制を実施した。



3. 令和5年度松島町交通社会実験の概要(迂回路)

社会実験中は国道45号の通過交通を周辺道路に迂回路を設定し通行させた。



迂回路の方針
 ・混雑度の低い
 「県道小牛田松島線」
 「県道赤沼松島線」
 「町道井戸尻放森線」等
 を中心に迂回させる。

(石巻方面からの迂回)
 <塩竈方面へ>
 ① 国道45号「愛宕交差点」から仙台松島線へ
 ② 小牛田松島線に左折
 ③ 赤沼松島線に右折
 ④ 井戸尻放森線に左折
 ⑤ 国道45号に合流

<利府方面へ>
 ① 国道45号「愛宕交差点」から仙台松島線へ

(塩竈方面からの迂回)
 <石巻方面へ>
 ① 国道45号「浜田交差点」から井戸尻放森線へ
 ② 赤沼松島線に右折
 ③ 小牛田松島線に左折
 ④ 仙台松島線に右折
 ⑤ 「愛宕交差点」から国道45号に合流

3. 令和5年度交通社会実験の概要(賑わいイベント)

賑わい創出イベントの開催

エリア	テーマ	具体的な活用案
①道路空間	賑わい創出空間	歩行者天国・道路装飾・各種イベント・休憩スペース
②グリーン広場	魅力発信・交流空間	観光ブース・物販ブース 外
③中央広場	静寂空間	オープンカフェ・休憩スペース



3. 令和5年度交通社会実験の概要 (2次交通運行ルート・AIカメラ設置位置)

- ・観光客の利便性及び回遊性の向上のため、グリーンスローモビリティを運行。
- ・観光客の遠方駐車場への利用促進のため、遠方駐車場から循環シャトルバスを運行。
- ・道路利用者へ道路の混雑状況を提供するため、主要な迂回ルートの3箇所へAIカメラ設置。

2次交通運行ルート



AIカメラ設置位置図



シャトルバス運行状況



グリーンスローモビリティ運行状況



AIカメラ設置状況

3. 令和5年度交通社会実験の概要 (AIカメラ・サイコロセンサー)

駐車場への円滑な誘導及び観光客の利便性を図る目的で、デジタルマップ(ミヤギタビマップ)とサイコロセンサー、AIカメラ及びGPS IoTセンサーを連携させて、道路の渋滞情報、駐車場の混雑状況及び2次交通の位置情報を提供した。



4. 令和5年度交通社会実験の取り組み状況（歩行者天国区間・2次交通の運行）

- ・歩行者天国では「賑わい創出空間」として道路装飾、テーブル・椅子を設置し休憩スペースを設置した。
- ・シャトルバス、グリーンスローモビリティを運行し、観光客の利便性及び回遊性が向上した。



歩行者天国状況(休憩スペース)



歩行者天国状況(松島 kimono fashion-show)



シャトルバス運行状況



グリーンスローモビリティ運行状況

4. 令和5年度交通社会実験の取り組み状況(賑わいイベント)

道路空間に加え、中央広場・グリーン広場を活用して、様々な誘客・周遊企画の実施。

②グリーン広場

近隣自治体による観光PR・物販ブース、子供向け遊具の設置 など



③中央広場

オープンカフェ、モバイル遊具、打上げ花火



その他周遊施策

近隣自治体による広域観光に向けたボンネットバスツアー、遊覧船の運航など



4. 令和5年度交通社会実験の取り組み状況（交通誘導）

- ・愛宕交差線及び浜田交差点で迂回誘導を行った。
- ・迂回路及び周辺道路に看板を事前に設置し、迂回車両の円滑な迂回を図った。
- ・駐車場案内看板を設置し、空き駐車場へ円滑な誘導を図った。



愛宕交差点における迂回誘導状況



迂回案内看板、駐車場案内看板設置状況

種別	枚数
迂回誘導看板	50枚
迂回誘導看板(大型)	2枚
規制告知看板	43枚
規制告知看板(大型)	10枚
駐車場案内看板	31枚
合計	136枚



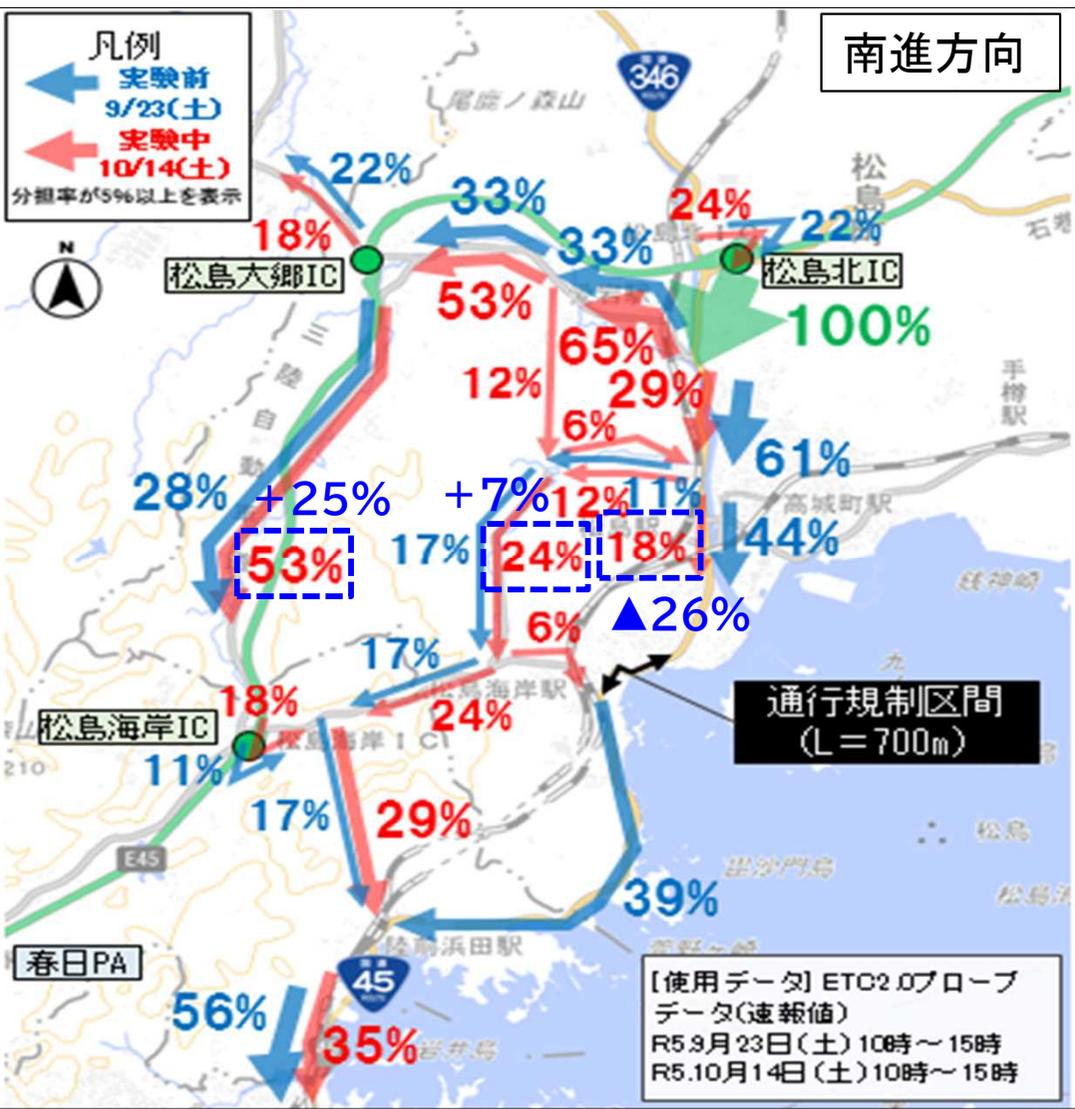
デジタルマップによる誘導状況



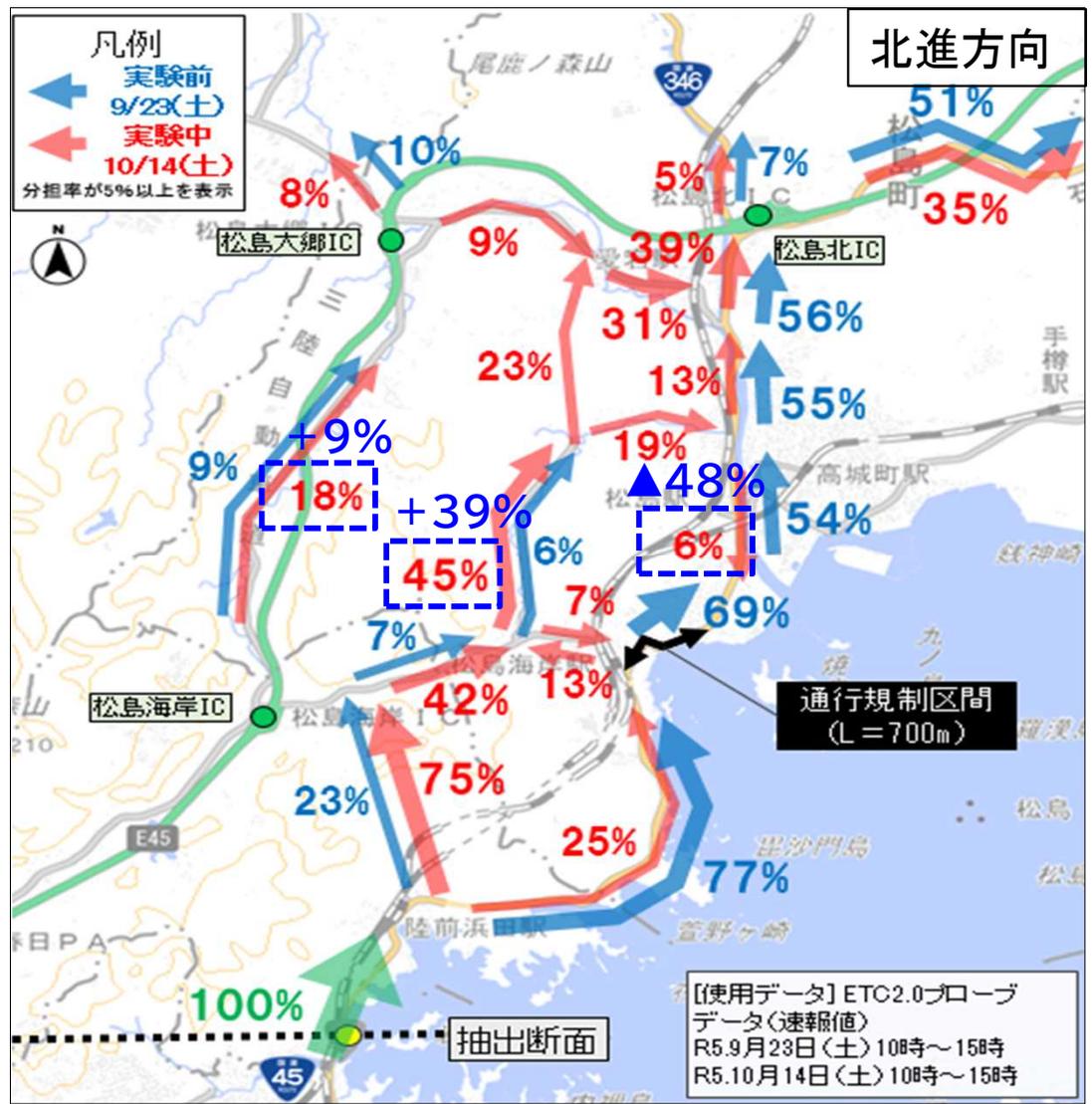
歩行者天国区間通行止め状況

5. 迂回路状況について(経路の変化)

・交通社会実験の結果から国道45号交通規制に伴う経路の変化について整理した。



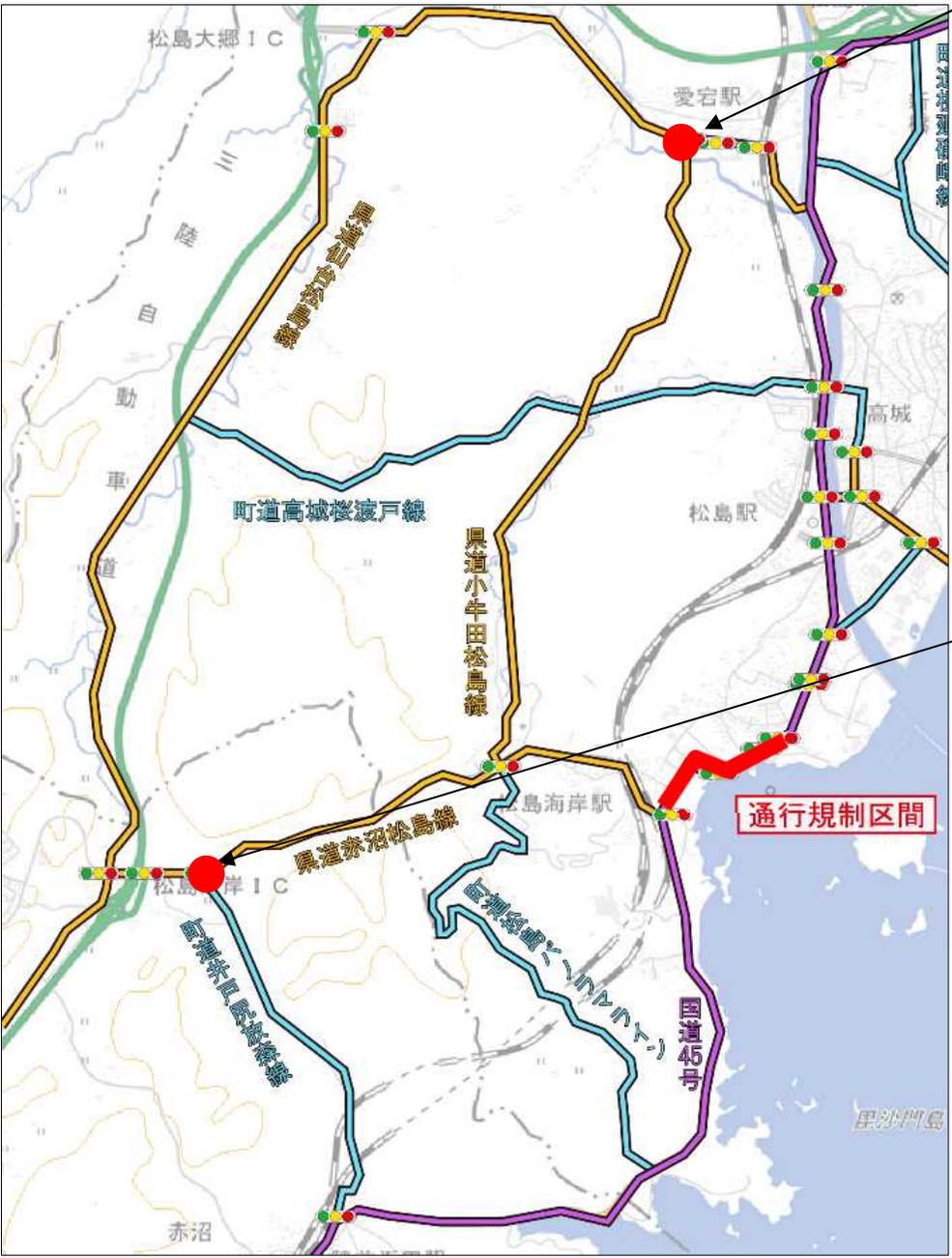
石巻市側から利府町方面へ通行する車両は約半分が仙台松島線を通行している。
 実験前と比較すると、仙台松島線は+25%、小牛田松島線は+7%増加した。



塩竈市側から石巻市方面へ通行する車両は約半分が赤沼松島線と小牛田松島線を通行
 実験前と比較すると仙台松島線は+9%、小牛田松島線は+39%増加した。

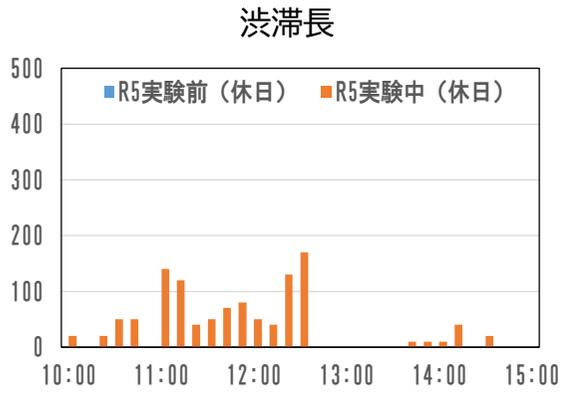
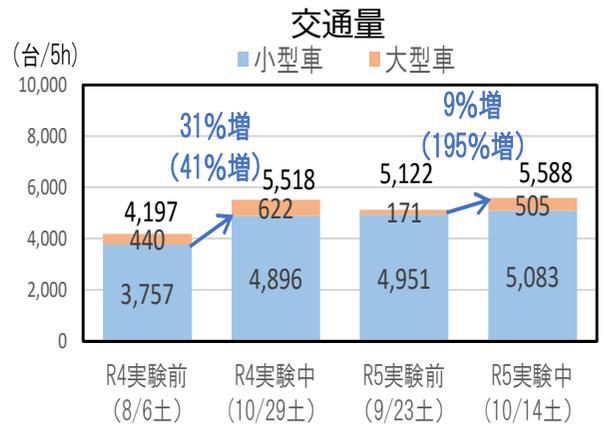
5. 迂回路状況について(交通量・渋滞長)

・交通社会実験の結果から迂回路における交通量の変化及び交差点の渋滞変化について整理した。



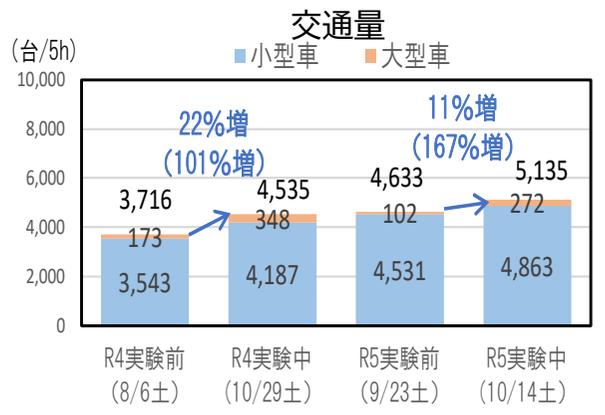
■主要地方道仙台松島線

実験前より実験中の方が交通量が増加し、渋滞長が100mを超えた時間帯があったが、大きな渋滞はない。



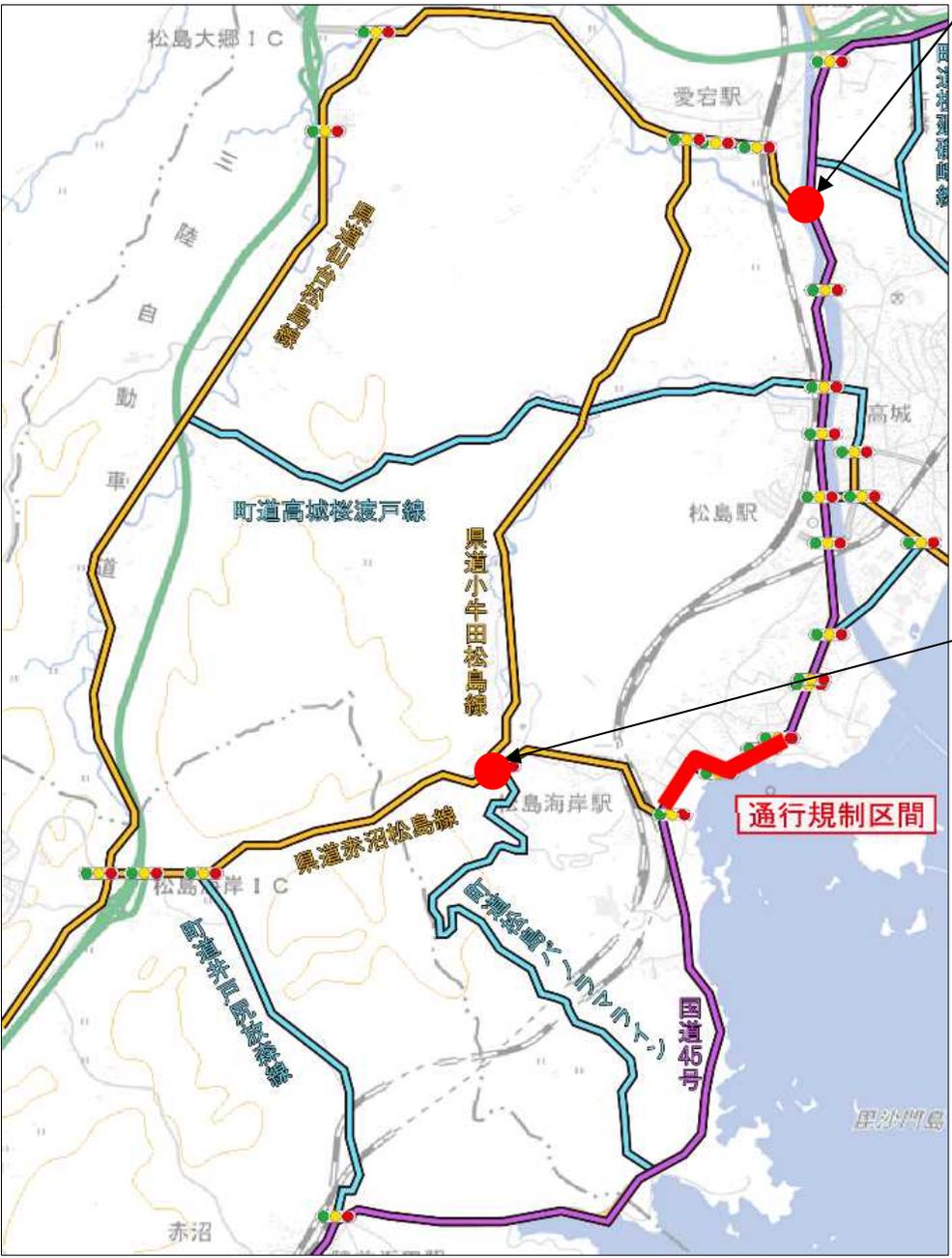
■一般県道赤沼松島線

実験前より実験中の方が交通量が増加し、午後の一部時間帯で渋滞が100mを超える時間帯もあった。

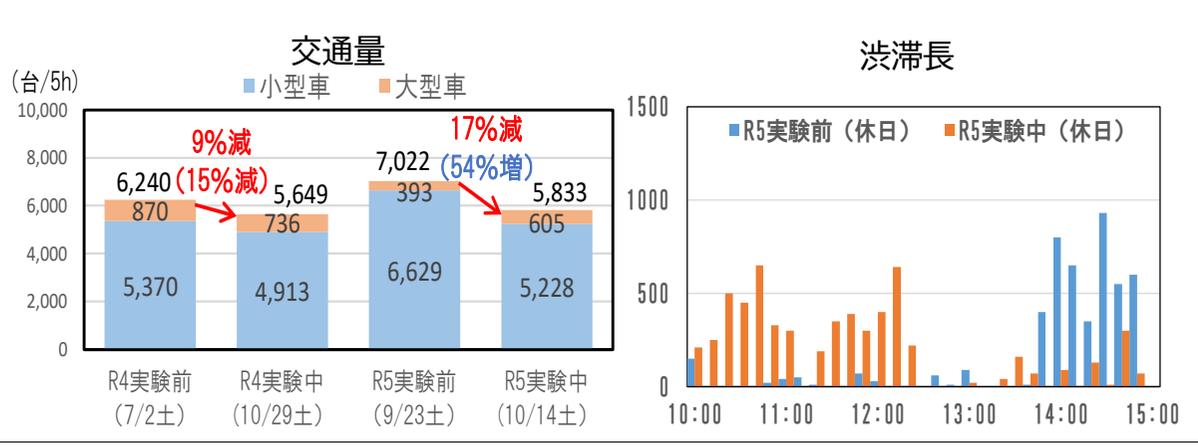


5. 迂回路状況について(交通量・渋滞長)

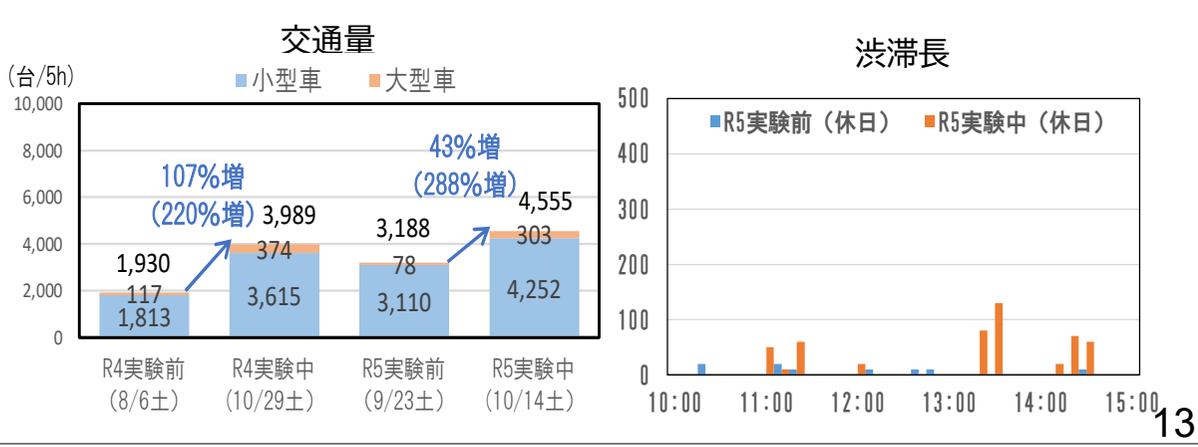
・交通社会実験の結果から迂回路における交通量の変化及び交差点の渋滞変化について整理した。



■国道45号(愛宕交差点)
 実験前よりも実験中の方が交通量が減少し、最大渋滞長は実験前は930mであったが、実験中は650mとなった。



■一般県道小牛田松島線
 実験前よりも実験中の方が交通量が増加し、午後の一部時間帯で渋滞が100mを超える時間帯もあった。



5. 迂回路状況について(アンケート結果)

アンケート結果から迂回路の状況やAIやIoTを活用した施策の認知状況について整理した。

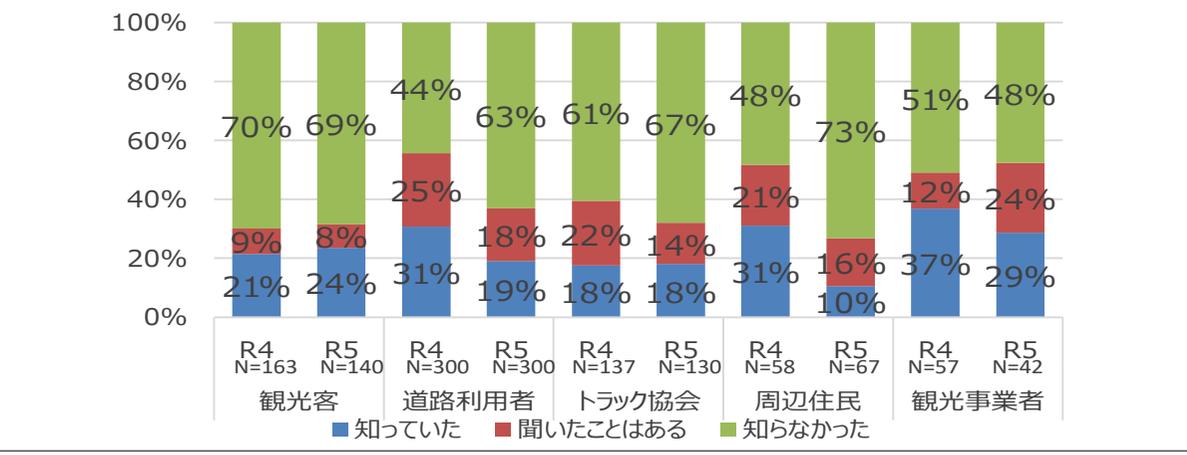
■迂回路の混雑状況【道路利用者、トラック協会】

迂回路は県道仙台松島線、県道赤沼松島線が通常より混雑した。



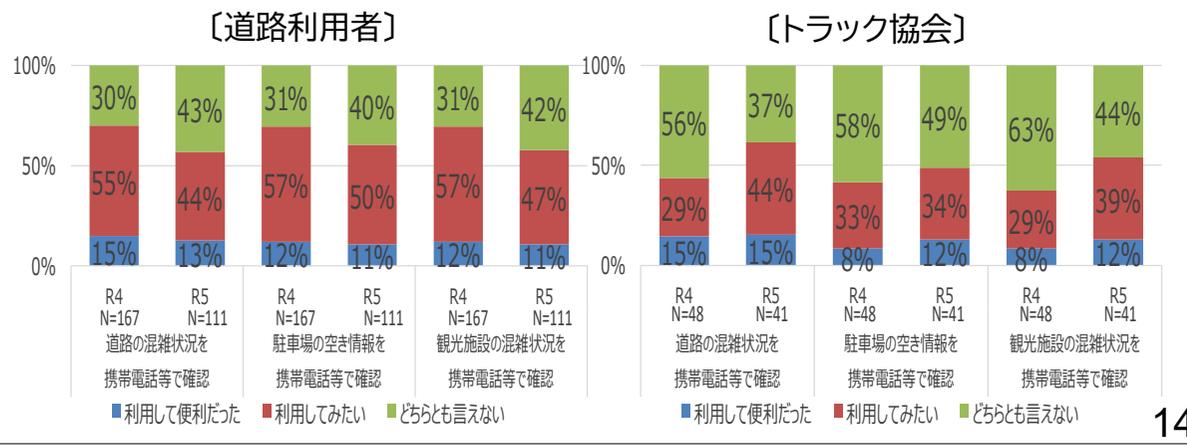
■AIやIoTを活用した施策の認知状況【観光客、道路利用者、トラック協会、周辺住民、観光事業者】

AIやIoTを活用した施策の認知状況は、観光事業者は約半数であったが、観光客・道路利用者・トラック協会・周辺住民は約3~4割であった。



■AIやIoTを活用した施策への意見【道路利用者、トラック協会】

AIやIoTを活用した施策を実際に利用した人は1~2割程度であった。道路利用者では利用してみたいと応えた人は約半数であった。



6. 交通社会実験の総括

<交通社会実験の取組>

■国道45号の通行規制

- ・全面通行規制による「歩行者天国」・通行抑制区間の設定
- ・道路空間及び隣接エリアを活用した賑わいイベントの開催

■通過交通の円滑な交通誘導

- ・迂回看板の設置、誘導員の配置

■駐車場への円滑な誘導

- ・駐車場案内看板の設置、デジタルマップでの情報提供

■2次交通の確保

- ・シャトルバス、グリーンスローモビリティの運行、電動車イスの配置



○交通社会実験の取組について、一定の効果を確認できた。

○今回の結果等を踏まえ、観光渋滞WGでは引き続き、「松島地区」の渋滞対策を検討していく。